

平成29年度

認可保育所

法人名称	社会福祉法人つぼみ会
事業所名称	西新井保育園
事業所所在地	東京都足立区西新井2丁目21番2号
事業所電話番号	03-3898-4291

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのこれまでもっていた“子ども像”的既成概念を振り払った真に「子どもひとりひとりを一人の人間として認める」世界基準の教育を追求します。 ・自分の目で見て、自分の足で確かめ、自分の頭で考え、自分の言葉で意思を伝えられるせかいのどこにいても豊かに生きることができる人を育てます。 ・一人ひとりがいつも安心して生活が出来、一人ひとりの特性に応じ、発達過程、子どもの生活時間の流れに即した保育 ・子どもの力を信じて「自分でできた！」と思える子どもの力を引き出す保育を行います。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- ・育児担当制による安定した生活の支援をもとに、園での生活・遊び等を通じた子ども同士の関わりによって社会性を培っている
1・2歳児は個別の計画を立て、担当制によって職員との愛着関係の構築と安定した生活の保障に配慮しながら、食事・排せつなども含めて自分でできたという体験が得られたり、一人ひとりの生活リズムやその日の体調、気持ちに応じた援助に努めている。これを基盤としつつ、特に幼児は子ども同士の関わりも大切にしており、コーナーごとで自由に遊びを選んだり、ともに過ごす中でさまざまな思いの体験や感情が生じることで他者との関わり方を身につけたり、遊び等を通じて社会性やルールなどを学ぶ機会ともなっている。
- ・日常の活動に子どもが主体的に取り組み、さまざまな体験が心身の育ちへつながっている
日々の活動の中で季節ごとの歌や制作に取り組んだり、園庭・散歩で身体を動かすほか、外部講師による子どものコミュニケーション能力や社会性、自己肯定感を高める就学支援プログラム「ハッピータイム」や体力・運動能力の向上を促す「コーディネーショントレーニング」も採り入れている。また日本の文化や季節の移ろいを体感できる行事に加え、子どもが内容を考えたり、制作等に取り組むなどして主体的に取り組み、皆で協力してやり遂げる体験もあるなど、日常の多様な活動・体験が子どもの心身の育ちへつながっている。
- ・保護者に子どもたちの姿を伝え、日々の緊密な連携にも取り組むなど、一人ひとりをともに支え見守る関係の確立に努めている
運営開始後、子どもたちの日々の生活や園の保育などについて、より明確に伝えてほしいとの要望が保護者から寄せられたことも踏まえ、さまざまな取組を通じた情報発信を行っている。懇談会では動画やスライドで子どもたちの日頃の姿を紹介するほか、発表会でも練習の模様を映像で伝え、好評を得ている。また連絡帳やホワイトボードでの日々の活動報告に加え、各クラスの週の予定の掲示も年度途中から開始するとともに、各年齢で18時30分までクラス単位の保育を行い、なるべく担任がお迎えの保護者と話せるようにするなど、緊密な連携に努めている。

さらなる改善が望まれる点

- ・取り組み始めたさまざまな改善活動が、保護者との信頼関係構築や園としての保育力・組織力の向上に寄与することを期待したい
区立直営園からの運営受託に際し、前年度の段階から継続的に説明会を設けるなど、保護者との共通理解形成に努めている。運営開始後の状況について保護者から懸念や要望が寄せられたことも踏まえ、職員の子ども・保護者への接遇や日々の子どもの様子などの保護者への伝達、安全衛生管理など課題とする各分野について、年度途中に設置した担当委員会が中心となり、改善に向けた取組を

進めている。これら取組の進展と成果が保護者とのさらなる信頼関係の構築につながるとともに、取組を通じた園としての保育力・組織力の向上にも期待が寄せられる。

- ・地域向けの子育て支援のさらなる充実や、そのための組織内の体制整備、ニーズ把握の取組が期待される

今年度は組織内の体制づくりに注力しており、地域の子育て支援としては行事のお知らせを園の外の掲示版に貼り出し、参加者を募る程度にとどまっている。現時点では見学者からの口頭での聞き取りでニーズの把握を図りながら、組織内の体制も整え、次年度には対応してゆきたいと考えており、地域の各会議に参加した際の事例収集や、見学者などから把握した地域の未就園世帯の関心事なども参考とし、地域の子育て世帯へ向けた行事の企画を行い、計画的に開催してゆく体制の確立が期待される。

- ・年度途中に作成された中・長期計画について、現場との共有や年単位の事業計画とも連動させた実行に取り組むことを期待したい

運営受託初年度という過渡期の状況下でもあり、課題解決等に向けた中・長期的な計画については、本評価時点では今後の法人の事業展開なども踏まえ、「インクルージョン＆ダイバーシティ」事業の継続や人材の育成など、想定される今後の取組を掲げた素案が作成され、理事会承認を待っている段階となっている。計画内容について、目標や取組、その先にある未来の「なりたい園の姿」を明確にし、組織内で経営層と職員の共通理解と共有を図り、各期間の計画に反映させるとともに、組織全体で推進する体制の確立が待たれる。

事業者が特に力を入れている取り組み

★ 新たに設置した改善委員会を中心に、保育や運営の質の向上に取り組んでいる

運営移管後の保護者の声や区が行った満足度調査の結果を園として課題と受けとめ、職員の保護者・子どもへの言葉かけ、保健面の対応や安全管理、連絡帳の記載内容、保育内容、職員間の連携、保護者への情報発信の各分野に関して、各クラス代表などによる話し合いを通じて課題検討を行い、今後の方針や改善策の明確化を図っている。また関連する取組として、安全対策としての設備面の充実や、保護者とのコミュニケーション強化を目的とした事務室の移動など、具体的な改善の取組もなされている。

★ 子どもの成長や興味などに即した環境設定に注力している

時季に合わせた日課をもとにコーナーでの机上遊びの設定をしたり、玩具の見直しなどをして子どもが個別・小集団で遊べるような環境を整えたり、「静」と「動」の活動、また食事・遊びなどのコーナー・スペースの区分も行われている。これらは子どもの姿や興味などを捉え、会議等での検討や実際の保育現場での実践を重ねながら、子どもたちの今の興味や関心から主体的に遊び込めるような環境づくりに注力している。訪問調査時点においても集団での遊びが発展したり、各コーナーでそれぞれが遊びを選択し、思い思いに遊ぶ姿が見られた。

利用者調査結果

調査概要

- ・**調査対象**: 調査開始時点での本園の利用世帯118(在籍児童数134)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

- ・**調査方法**: アンケート方式

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。

回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

- ・利用者総数: 134人

- ・利用者家族総数(世帯): 118世帯

- ・共通評価項目による調査対象者数: 118人

- ・共通評価項目による調査の有効回答者数: 70人

- ・利用者総数に対する回答者割合(%): 59.3%

- ・調査項目: 共通評価項目

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	68.0%	24.0%	いいえ:4.0% 無回答・非該当:2.0%
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	68.0%	25.0%	いいえ:4.0% 無回答・非該当:1.0%
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	65.0%	22.0% 7.0%	いいえ:4.0%
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	58.0%	24.0% 12.0%	無回答・非該当:4.0%
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	72.0%	20.0%	どちらともいえない:4.0% いいえ:2.0%
6. 安全対策が十分取られていると思うか	30.0%	44.0% 22.0%	無回答・非該当:2.0%
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	48.0%	34.0% 14.0%	無回答・非該当:2.0%
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44.0%	34.0% 15.0% 5.0%	
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41.0%	40.0% 17.0%	無回答・非該当:1.0%
10. 職員の接遇・態度は適切か	54.0%	28.0% 15.0%	無回答・非該当:1.0%
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	55.0%	28.0% 10.0% 5.0%	
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	25.0%	41.0% 12.0% 20.0%	
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	64.0%	22.0% 10.0%	無回答・非該当:2.0%
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	55.0%	20.0% 21.0%	いいえ:2.0%
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	50.0%	32.0% 15.0%	無回答・非該当:1.0%
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	51.0%	34.0% 7.0% 7.0%	
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	17.0% 20.0%	22.0% 40.0%	